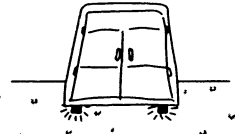
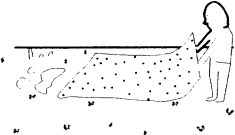
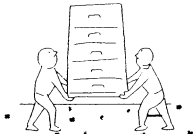
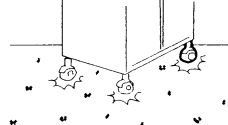
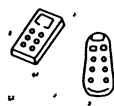
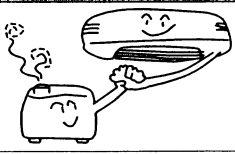
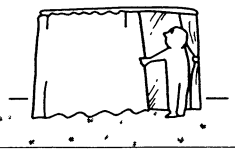
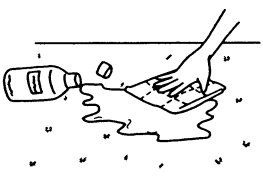
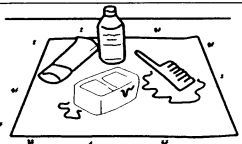
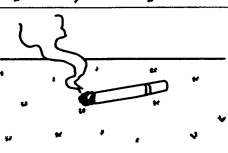
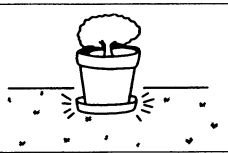
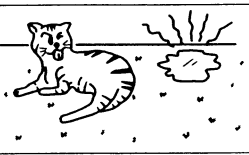
取扱説明書
ガス温水床暖房ヌック「はやわざカーペット」

このたびは、弊社商品をご購入いただき、誠に有り難うございます。
ご使用の前に、本書を良くお読みの上、良い状態で末永くお使いください。
また本書中の安全に関する重要な内容については、必ずお守りください。

誤った取扱をされた時に、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が
大きいものに「⚠警告」のマークを、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性がある
ものに「⚠注意」のマークを記載しております。
使用時にいつでも読むことができる場所に必ず保管をお願い致します。

この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が負傷する可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絶対に行わないで下さい。

使用上の注意　警告・注意

項目		内容
警告	●床面で灯油などこぼさない・扱わない	■床に灯油、ベンジン、マニュキュア、アルコール、水、薬品、醤油、ペットなどの排泄物などをこぼさないで下さい。こぼした場合にはタイルカーペット、温水マットは変色など品質を損なう恐れがありますので、速やかに乾いた雑巾で拭き取って下さい。
警告	●低温やけどの恐れあり	■床暖房中床面に長時間座ったり、寝そべると比較的低い温度でも皮ふ傷害を起こす危険があります。特に病人・高齢者・乳幼児・皮ふの弱い方などには、ご家族の方が十分にご注意下さい。
警告	●床暖房の上にスプレー缶、ライター等を置かない	■熱でスプレー缶内の圧力が上がり、破裂する恐れがあります。
警告	●リモコンに水をかけたり濡れた手で操作しない	■感電の恐れがあります。 ■故障の原因となります。 ※リモコンをお掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。乾いた布等で拭き取って下さい。
警告	●リモコンは自分で分解、修理、改造等は行わない。	■発火したり、感電の恐れがあります。
注意	●床へは物を刺さない	■床暖房を設置している床に、突起物（釘・画びょう・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみ・包丁等）を刺したりしないで下さい。水漏れの原因となります。
注意	●床へは衝撃を加えない	■タイルカーペット、温水マットがへこんだり、水漏れの恐れがあります。
注意	●床下防腐、防蟻処理等をされるときにはご注意を	■床暖房および配管類に処理剤が付着すると処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがありますので、付着させないようにして下さい。
注意	●重いものはそのまま置かない	■ピアノなど重量物にはパッド等の緩衝材を敷いて集中した荷重がかからないよう設置して下さい。タイルカーペット、温水マットがへこんだり、温水配管がつぶれてお湯が流れなくなる恐れがあります。
注意	●タイルカーペットの上に敷かない	■カーペット、ゴザ等の敷ものを敷かないで下さい。性能が発揮できない場合や床暖房の熱がこもって、タイルカーペットに変形、収縮、変色等の不具合が生じることがあります。

使用上の注意　警告・注意

項目		内容
注意	●家具等を直接床に置かない	■床暖房の上に、調度品、家具などを直接置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生する恐れがあります。床表面と家具など間に空間を設けるようにし、熱がこもらないよう配慮して下さい。
注意	●ホットカーペットやこたつなどとの併用はしない	■床暖房の熱がこもってタイルカーペットが変色、収縮等の不具合が生じることがあります。
注意	●床に水がこぼれたら速やかにふきとる	■次のようなものをこぼした場合にはタイルカーペット、温水マットの変色など品質を損なう場合がありますので速やかに雑巾で拭き取って下さい。（水、薬品、醤油、汁物、ペットの排泄物等） ■常時、水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しないで下さい。タイルカーペットや温水マットの品質を損なうことがあります。
注意	●家具は引きずらない	■重たい家具などを動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動するようにして下さい。また、椅子等を引きずりますとタイルカーペットが傷付き変形します。
注意	●キャスター付きの椅子や家具および車椅子は使用しない	■キャスター付きの椅子や家具および車椅子等の使用は避けて下さい。傷やへこみ等の原因となります。
注意	●閉め切ったお部屋で長時間使用しない	■閉め切ったお部屋では、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。タイルカーペットが原因（ホルムアルデヒド）のひとつに考えられますので、窓を開放し換気を行って下さい。（床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、タイルカーペットの施工店にご相談下さい）
注意	●床暖房を他の目的に使用しない	■特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存等）には使わないで下さい。
	●タイルカーペットの張替え時にはご注意を	■タイルカーペットを張り替える場合には、弊社指定工法で施工して下さい。詳しくは弊社にお問い合わせ下さい。
注意	●タイルカーペットのお手入れの注意	■詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。 ■日常のお手入れ参照…………………7P
注意	●エアコンやテレビ等のリモコンは長時間置かないで下さい	■故障の原因になります。

使用上の注意　警告・注意

項目		内容
注意	●エアコン等による暖房装置の連続使用をしない	■エアコン等による暖房装置の連続使用により室内が過乾燥になりタイルカーペットに隙が生じることがあります。乾燥を抑えるため加湿器の併用をお勧めします。
注意	●直射日光に長時間さらさない	■タイルカーペットは直射日光に長時間さらされると日焼けによる変色が生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光を出来るだけ遮って下さい。
注意	●灯油等油類に注意	■灯油等油類をこぼし、しみ込みますと、下地の温水マットが溶解し、床がたわむ場合がありますのですぐに拭き取って下さい。
注意	●毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨等に注意	■毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨等の汚染はとれません。使用するときは必ず床の上にカバーをして下さい。
警告	●火のついたタバコ、アイロンに注意	■火のついたタバコを落としたり、アイロンを倒すと表面が焼け焦げ、火災の恐れがありますのでご注意下さい。また、焦げ跡は一度つくととれません。
注意	●コントローラーの近くで他の暖房器具を使用しない	■コントローラの近くで他の暖房器具を使用しますと、熱により故障したり、コントローラに内蔵された室温センサーが誤作動することがあります。また、直射日光が当たる場所にコントローラーがある場合も同様の可能性がありますので、カーテン等で日光を遮って下さい。
注意	●植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷く	■植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷いて、水がタイルカーペットの上に流れないようにして下さい。水が流れるとタイルカーペット表面に、変色が生じる恐れがあります。
注意	●直ちにかたく絞った雑巾等で拭き取る	■ペットなどの排泄物をそのまま放置しますと、水をこぼした場合以上に仕上げ材の美観など品質を損なうことがあります。直ちにかたく絞った雑巾できれいに拭き取って下さい。
	●つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります	■取扱書に記載する「警告」「注意」「お願い」を守らなかった場合に生じる故障及び損傷

故障かな？と思ったら ■次のような現象は故障ではありません

[illegible]	説明	処置
●床面がなかなか暖まらない	●床面が暖まるには外気温度、住宅構造等によって変化し、暖房感が得られるようになるには予熱時間が必要です。 ●床面が適度に暖まるには、住宅事情（床構造、仕上げ材、床暖房の種類、敷設率等）、外気温度により多少時間差はありますが、約1～2時間程度かかります。	●あらかじめリモコンでタイマー運転を設定してご使用下さい。（リモコンの設定方法についてはリモコンの運転手順をご確認下さい。）
●床温が上がらない ●室温が上がらない	●室温センサー付きの床暖房リモコンをお使いの方は、リモコンの近くにストーブ等高温になる機器を置かれますと、暖房機能が発揮出来ないことがあります。 ●リモコンに日ざしが直接あたる場合にも暖房性能が発揮出来ないことがあります。	●ストーブ等の暖房機器の位置を変更して下さい。 ●カーテンで遮へいしてご使用下さい。
●床面の暖かさが場所によって違う	●温水床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、パイプのあるところとないところでは床面の温度に若干の差が生じます。	●異常ではありません。
●リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった	＜室温センサー付きの場合＞ ●室温が設定より高い場合には、床面温度を下げて室温調整をしています。 ＜床温センサー付きの場合＞ ●床暖房の1箇所に床温センサーが入っています。その部分を座布団などで覆いますと、センサーが正常に作動せず他の床面温度が低い場合でもリモコンがOFFとなり、全体が低めの温度制御となります。	●リモコン設定を上げて下さい。 ●このような場合には（センサーは床暖房設置面の1箇所（1系統の場合）に設置しています）座布団などの位置を変えるなどしてご使用下さい。
●床暖房使用中に音がする	●床暖房を使用すると、床面から音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって温水マットおよびタイルカーペット、床の構造体が膨張・収縮し発生するものや温水の通水音によるものです。	●異常ではありません。
●床面の足触りが場所により違う	●温水配管接続部、温水配管部等のため、床面の足触りが部分的に周辺部分と異なることがあります。※が異常ではありません。	●異常ではありません。
●床表面に凹凸や段差がある	●温水マットの2枚以上の併設時やマットと周辺ダミー材の継ぎ合わせ部等には多少の凹凸があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。※が異常ではありません。	●異常ではありません。
●タイルカーペットの継ぎ目に隙間がある	●床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかですが継ぎ目に隙間が生じてしまうことがあります。	●異常ではありません。
●タイルカーペットの変色	●タイルカーペットに直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じる可能性があります。	●カーテンやブラインドなどで遮るようにして下さい。

【異常時の処置】

（1）万一ご使用中に異常な運転音、臭気に気づかれたら、速やかに運転を停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡下さい。

（2）地震、火災が発生したときには、速やかに運転を停止して下さい。

（3）水漏れ等に気付いたら運転を停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡下さい。

性能に関するご注意

■温水式床暖房は、タイルカーペットの下にある床暖房マットの温水パイプ内に温水を流すことによって床表面を暖めます。そのため、温水マットが通っている部分とそれ以外の部分で温度に差があります。

■住宅の構造や外気温の条件によっては、補助暖房が必要になる場合があります。

■床下に断熱材がない場合は、ある場合と比べてランニングコストや立ち上がり時間に差があります。

■床暖房使用時に、「温水の流れる音」が発生する場合がありますのでご了承下さい。

■床暖房設置後に臭いがする場合がありますが、数日間経過すれば自然に消えます。
早急に対処する場合は換気を充分にして下さい。

■足の細い椅子や机、キャスター等の部分的に大きな荷重がかかりやすいものは、タイルカーペットや温水マットにへこみが生じるため、ご使用になれません。

■システムの構成上（温水マットのヘッダー部等）や下地の状態により、踏み感の異なる箇所がありますのでご了承下さい。

■下地の状態により、家具等を設置したときに傾くことがあります。

この場合は、転倒防止等の処置をして下さい。

日常のお手入れ方法

①いつもお手入れはかかさずに

■ふだんは掃除機でＯＫ

こまめに電気掃除機をかけましょう。
汚れが目立ちだしたら、天気の良い日に固く絞ったタオルで拭くと、一層効果的です。

②部分的に汚してしまったとき

タイルカーペットをはずさずに、その場で汚れをとりましょう。

■ 中性洗剤で洗えます

油性のものやジュースなどをこぼしたら、きれいなタオルに、ごく少しの中性洗剤を混ぜた水を含ませて拭き取ります。汚れの真ん中に向かって叩くようにして拭き取ると汚れが広がりません。その後、固く絞った清潔なタオルできれいに拭き取ります。洗剤が残っていると再汚染の原因となります。あとは柔らかいブラシで毛並みを揃えて、自然乾燥させましょう。

③ひどく汚したときや、汚れがめだつとき

食べ物をお皿ごとこぼしたり、赤ちゃんがおしっこしたり、ホコリっぽい汚れが目立ちはじめた時に。

■ 汚れた部分だけ洗えます

まずタイルカーペットを床からはずします。お風呂場などで水か、中性洗剤をごく少し混ぜた水を含ませたスポンジで洗いましょう。固形物などで部分的にひどく汚れているところは、あらかじめスプーンやティッシュペーパーである程度拭き取っておきます。スポンジでこすり過ぎるとパイルが傷むのでご注意ください。

■ 洗った後はすすぎます。

洗剤が残らないようホース等を用いてきれいな水ですすぎます。
カーペットの裏面は濡れても問題はありませんが、早く乾くようにあまり濡らさないようにしましょう。

■ 乾燥は陰干しで

含んだ水は、まず手で振り切ったり、タオルでできるだけ吸い取ったりするなどしておきます。もしパイルの方向が乱れているようであれば、柔らかいブラシで毛並みを揃えてください。風通しの良い場所を選んで、変形を避けるため、平らな場所に置くかできるだけ真直ぐに立て掛けます。完全に乾かさないと、後に変形や変色したり、またカビの発生の恐れがあります。

■ 仕上げ

完全に乾いたら、最後の仕上げに、反りぐせがあれば直し、毛並みも揃え、パイルのほつれがあれば、丁寧にハサミでカットして下さい。

■ ご注意

洗濯機による洗濯はお避け下さい。脱水中に異常振動を起こし、洗濯機の破損やそれによってケガをする恐れがあります。また、ドライクリーニングもお避け下さい。

> シミ取りの洗濯に用いる洗剤は、必ず中性洗剤をお使いください。
> 弱アルカリ性のドライマーク衣料用洗剤や漂白剤の使用は避けてください。
> ＊指定の洗剤は、以下の通りです。
> 「ニューモノゲンユニ」（P＆G社製）
> 「アクロン」（ライオン社製）
> 「エマール」（花王社製）

【スペアがあれば、もっと便利！】

タイルカーペットをはずして洗っている間に、はめておきます。洗って乾いたら、次に使うまで大切に保管。はめこむときはパイルが目地に挟まれないように「市松貼り」で貼ります。洗ったカーペットと洗っていないカーペットでは、パイルの表面に色ムラが出て、違った色に見えることがありますが、使っているうちに目立たなくなります。

④収納について

タイルカーペットを床から丁寧にはずしてください。

■ タイルカーペット

はずして収納できます。はずす前に、少なくとも電気掃除機をかけて、汚れを充分に取り除いておきます。洗濯したり、フトン叩きで叩いたりすると、清潔な状態で保管できます。